



## 環境マネジメント

環境関連法規・規制を順守し、環境汚染の予防・CO<sub>2</sub> 排出抑制を図り、環境マネジメント活動に努めます。

### 美しい環境と共生していくために

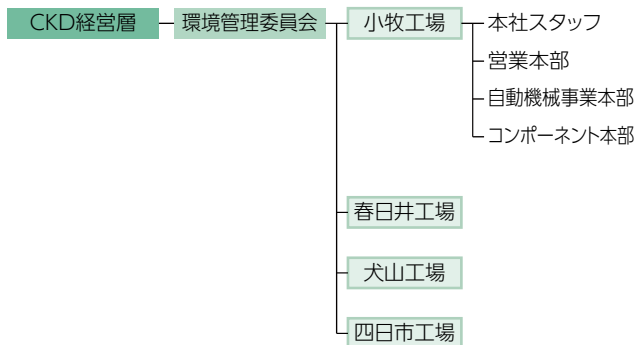
古くは公害問題への対応から、2006年7月に施行された欧州 RoHS 指令をはじめ製品に適用される環境規制への対応まで、全社を挙げて改善活動に取り組んでいます。

また、低炭素社会の実現・生物多様性に帰属した活動は、世界必須な課題として受け止め、美しい環境と共生する事業活動はもちろんのこと、従業員一人ひとりのエコ活動が大きな成果を生み出すと考えています。

ISO14001 に適合した環境マネジメントシステムにより、法律、規制を順守することはもちろんのこと、メーカーとして長年培ってきた自動化技術、流体制御技術を活かした当社らしい環境にやさしい商品を開発し、お客様にお届けすることにより、今後も地球環境の保全に貢献していきます。

### 環境管理体制

環境負荷の軽減のために、全社を挙げて取り組んでいます。



### ISO の取得状況

国内営業部門も含めた全社で ISO14001 の認証を取得しています。

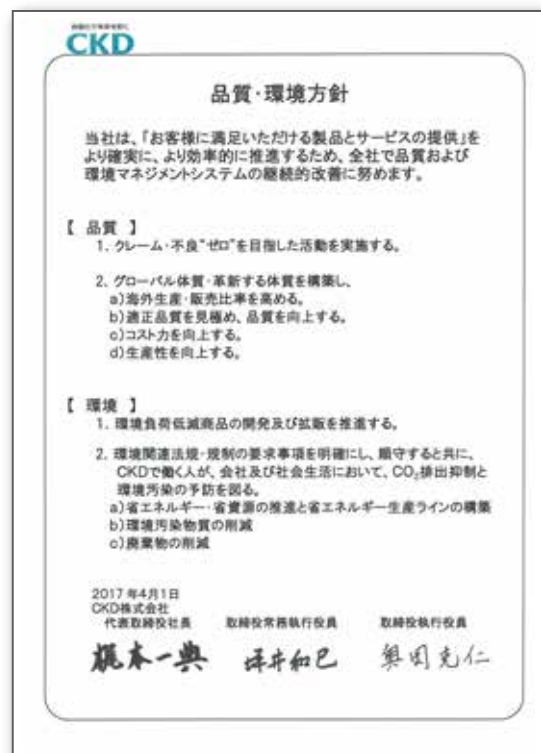
環境汚染物質の削減・廃棄物の削減、省エネルギー・省資源の推進、そして環境にやさしい商品を開発し、地球環境の保全に貢献していきたいと考えています。

取得対象	取得日
国内工場	2000年12月8日
タイ工場	2004年1月14日
中国工場	2009年1月4日

### 環境方針

当社の活動・製品およびサービスが環境影響に対して適切であり、継続的改善および汚染の予防に関するコミットメントとして、毎年度、環境方針を設定し、当社で働くまたは当社のために働くすべての方々に周知しています。

●環境方針 (2017年4月1日改訂版)



### EMS に基づく社員の教育訓練

環境マネジメントシステム (EMS) は、全員参加で行っています。定期的に社員の教育訓練や内部環境監査員の養成などを行い、社員の力量向上に努めています。



## 環境目標と実績

### ■ 環境負荷低減型商品の開発および拡販

当社基準を満たしたエコ製品の開発および発売



年間の開発・発売件数に目標を設けています。  
2016年度目標達成率は113%となりました。

環境負荷低減型商品を拡販する



前年度比10%アップを目標としています。  
2016年度目標達成率は130%となりました。

環境負荷低減型商品に対する顧客の改善要求情報を  
収集し、開発・改良を提案する



営業担当部門に目標件数を設けています。  
2016年度目標達成率は207%で、目標を達成することができました。

### ■ 環境汚染物質の削減

REACH規則に対応する製品含有化学物質データの収集



お客様から含有物質データ提供要求にお応えするため  
に、AIS等のデータ収集を進めています。

### ■ 省エネ・省資源の推進

インフラ・生産工程を改善し、エネルギー使用量を削減  
する



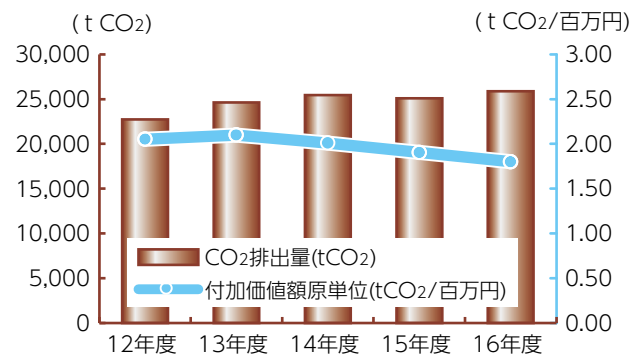
省エネ法削減努力目標の年1% (原単位) を目標として  
います。  
2016年度は、2010年度と比較してエネルギー使用量  
が6.3%増加したものの、原単価では21%削減できま  
した。  
2011年から2016年までの6年間で原単位での年平均  
削減率3.5%で目標を達成しています。

## 地球温暖化防止対策への取り組み

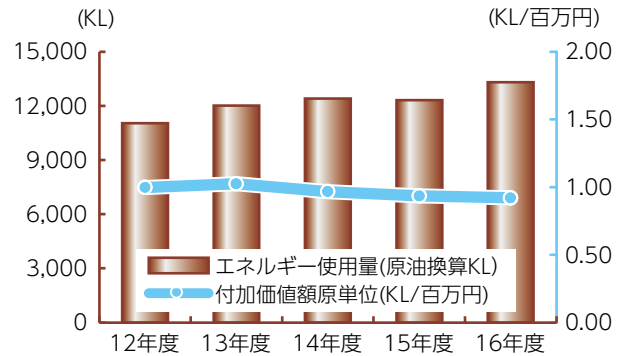
省エネ設備の導入、工程エア消費量削減等の改善活動を  
継続的に実施し、温室効果ガス排出量の削減を図っていま  
す。

(注) 原単位：付加価値【KL/百万円】(2010年度基準)

### ● 温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>)の推移



### ● エネルギー使用量の推移



## 環境法規制と順守状況

当社の活動には、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃掃  
法をはじめ各種環境法が適用されています。

また、罰金や制裁措置などの規制違反や環境影響を及ぼ  
す化学物質等の漏出事故はありません。

＜小牧本社工場の土壌・地下水汚染の浄化＞

土壌調査の結果、基準値を上回る有害物質が検出された  
ため、2014年9月に行政へ届出および報告し、計画的かつ  
継続的に措置を進めています。

汚染土壌の掘削除去	基準超過土壌は2014年10月～11月に掘削除去し、許可施設に搬出処理しました。
汚染地下水の揚水浄化	2015年7月から揚水浄化を開始し、濃度変化を監視しています。

## 環境に関する設備投資状況

環境保全を目的とした国内4工場の設備投資活動内容を紹介します。投資金額は、主に設備金額を集計し、人件費等は含めておりません。

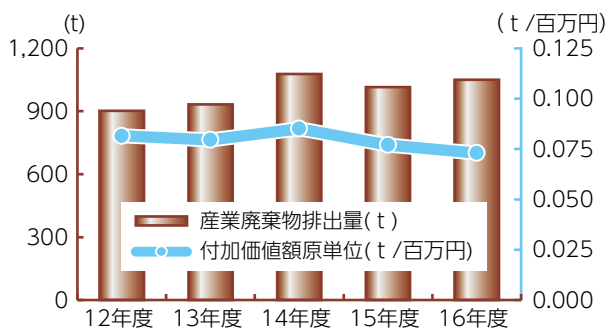
	投資金額	主な内容
2012年度	175百万円	高効率空調設備への更新、インバータ式エアコンプレッサへの更新
2013年度	120百万円	照明装置の改善、インバータ式エアコンプレッサへの更新
2014年度	253百万円	エネルギー転換(重油、LPガス→都市ガス)高効率空調設備への更新
2015年度	310百万円	高効率空調設備への更新 コージェネレーション導入
2016年度	111百万円	空調設備の運転方法改善 電力制御方法の改善

## 廃棄物

国内4工場において発生する廃棄物の分別、排出、保管、委託処理を管理し、廃棄物の削減・再資源化に取り組んでいます。

### 産業廃棄物の推移

2016年度は、2015年度廃棄量と同程度に維持しています。



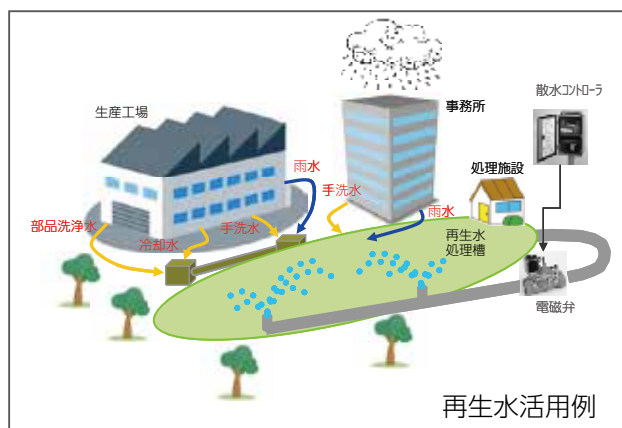
## ●PRTR 法対象 - 指定化学物質の排出状況 (2016年度)

届出工場	化学物質名	移動量 廃棄物	排出量		
			大気	水域	土壌
四日市工場	アンチモン	0.48	0	0	0
犬山工場	塩化第二鉄	0	0	0	0

※他の工場では、届出対象となる使用はありません。

## 環境保全への取り組み

小牧本社工場では、自社商品を使った工場緑化のための再生水の活用を行っています。また水資源の有効利用のため、使用工程を改善し、節水に努めています。

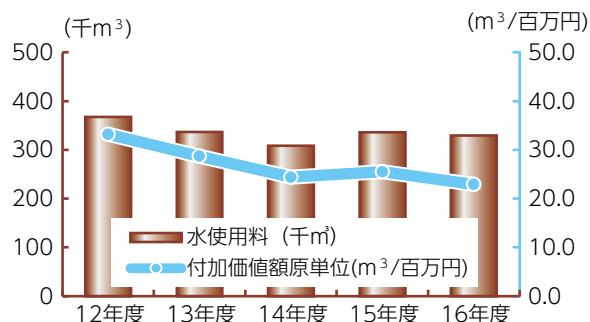


### 工場緑化対応のポイント

- ①自動散水システムの導入により無人化
- ②雨水を散水に活用
- ③工場排水を散水に利用

特に夏場の芝生への散水は1㎡あたり1日5ℓ程度必要とされています。芝生面積2,000㎡では、1日10㎡(=1000ℓ)の水が必要になるため、その分の上下水道費用の削減を計ることができます。

### ●水資源の有効利用



## 地球環境に配慮した商品

地球環境に配慮した商品の提供と企業活動を通じて持続的な環境保護に努めてまいります。

### 環境負荷低減型商品の開発

当社は、より環境レベルの高い商品を生み出すために、開発企画段階より意識的に環境レベル目標を組み込むことが必要と考え、当社独自の「環境適合評価表」(※1)を用い、エコ商品の開発に取り組んでいます。

※1：環境適合評価表：「顧客環境」と「社内環境」の両面からそれぞれ、「省エネ」「省資源」「廃棄物」「環境汚染」の4つの環境負荷項目について、環境レベルを評価するもの。

#### 【自動機械商品】

環境負荷低減型ブリスターパック  
エコブリスタ FBP/CFFシリーズ



成形スクラップ、エア消費量、消費電力の大幅な削減を可能とし、設置スペースの削減にも貢献します。

省エネ

廃棄物削減

環境汚染対策

#### 【機器商品】

パワフルアーム  
PFB2シリーズ



“すべては「働く人」のために”を合言葉に、ヒューマンアシスト機器として新しい機構を提案してまいります。

省資源

省スペース

リチウムイオン電池巻回機



リチウムイオン電池の素子を高速・高精度で製造する機械です。銅系材料未使用機器製品を採用しています。

省エネ

省資源

環境汚染対策

ダイヤル付スピードコントローラ  
DSC-Cシリーズ



2016年度グッドデザイン賞受賞

流量の可視化により誰でも簡単に操作が可能です。コンパクトにしたことで小形シリンダにも設置が可能です。

省資源

省スペース

3次元はんだ印刷検査機  
VP6000-V/VP5200-V



高速・高精度・簡単操作を追求したインラインタイプのはんだ印刷検査機です。実装ラインの品質向上に貢献します。

省資源

廃棄物削減

環境汚染対策

電動アクチュエータ  
KBXシリーズ



標準品のみで、あらゆる搬送シーンに適合した直交搬送システムが構築でき、単軸から4軸まで組み合わせることができます。

省エネ

省資源

省スペース